

## プリンセス・クルーズはロマンチックなクルーズの代名詞 一世を風靡した米大人気ドラマ『ラブ・ボート』の舞台として有名

一世を風靡したアメリカの大人気ドラマ『ラブ・ボート (The Love Boat)』の撮影は、世界的なクルーズ会社であるプリンセス・クルーズの客船で行われた。『ラブ・ボート』は、客船上で起こる様々な人間模様を、ロマンチックかつユーモアに描いた今なお人気のドラマで、1977年から1986年の期間に放映された。



※メイン・キャストは、プリンセス・クルーズのロゴマークが記載されたバッジを身に付けていた。  
※左の写真: 中央にいるのが、『スチューピング船長』を演じた俳優ギャビン・マクロード。

### ■ロマンチックなストーリーの舞台に

ドラマ『ラブ・ボート』が実現したきっかけは、アメリカのテレビ番組プロデューサーであったダグラス・S・クレイマーの、近代的な客船を舞台にしたコメディ作品を作りたいという思いから始まった。クレイマーは、ロマンチックな人間ドラマを描く舞台として、プリンセス・クルーズの客船が理想的であると判断した。『ラブ・ボート』の主な撮影は、プリンセス・クルーズの保有客船である『パシフィック・プリンセス』と『アイランド・プリンセス』で行われたが、その他にも、プリンセス・クルーズの5つの客船が舞台となり、世界中の寄港地で撮影が行われた。番組シリーズ終了後も定期的に特別番組が制作され、大人気を博した。また、『スチューピング船長』を演じた俳優のギャビン・マクロードは、現在でもプリンセス・クルーズのスポークス・パーソンとして、クルーズの魅力を広く伝える役割を果たしている。



※『パシフィック・プリンセス』

### ■『ラブ・ボート』がクルーズ・ブームの火つけ役

『ラブ・ボート』は、特別番組を含め 1987 年までに計 10 シーズンが放映され、アメリカのゴールデンタイムで最高視聴率を記録し続けた。29 言語に翻訳され、日本を含む 93 カ国で放映、世界中で数百万人が視聴した。ドラマをきっかけにアメリカでのクルーズ人気が一気に高まり、クルーズ旅行／クルーズ・バケーションというコンセプトが浸透し、結果的にクルーズ市場も劇的に拡大、驚異的な成功を収めた。そして、アメリカのクルーズ人口は、2010 年には 1,000 万人を突破した。『ラブ・ボート』によって、プリンセス・クルーズも一躍有名になり、今でもプリンセス・クルーズは『ラブ・ボート』の舞台として親しまれている。

### ■『サン・プリンセス』で人気再燃

『ラブ・ボート』はその人気の高さから、1998 年に新バージョンである『ラブ・ボート:ネクスト・ウェーブ (Love Boat: The Next Wave)』として復活し、その人気が再燃した。『ラブ・ボート:ネクスト・ウェーブ』は、プリンセス・クルーズの保有客船『サン・プリンセス』が舞台となり、2 シーズンに渡り放映された。



※『サン・プリンセス』

### ■プリンセス・クルーズで大切なパートナーとロマンチックな時間を

株式会社カーニバル・ジャパン代表取締役、木島榮子は次のように話している。  
『ラブ・ボート』の舞台になった『サン・プリンセス』と、日本で建造された『ダイヤモンド・プリンセス』は、外国客船史上最多となる日本発着クルーズを 2014 年に運航します。特別な人と特別な時間を過ごしていただくのにクルーズは最適です。大切なパートナーと愛を再び誓い合う儀式『リニューアル・オブ・バウズ』や、特別な日を祝う『シャンパン・ブレイクファスト／ディナー』、星空の下でロマンチックに映画鑑賞できる『ムービーズ・アンダー・ザ・スターズ』、豪華外国客船ならではの華やかな『シャンパン・ウオーターフォール』など、ロマンチックな時間を過ごしていただくための趣向を取り揃えています。誕生日や結婚記念日、退職祝いなど、人生の特別な日をクルーズでお祝いすれば、一生忘れられない日になります。ぜひ、大切な人と『ラブ・ボート』の世界を体験してみたいかがでしょうか。」

以上